



8/19~21
wed.-fri.

TOP NEWS

2015コヨットin埼玉(福島子ども保養プロジェクト)のびのび遊び埼玉で楽しい思い出を作ってもらいました

埼玉県生協連と埼玉県ユニセフ協会共催、ボーイスカウト埼玉県連盟の協力による実行委員会のもと、福島県の子どもたち18人を迎え、飯能市の埼玉県立名栗げんきプラザで開催しました。19日はグループづくりのためのゲームやコマ作り、プラネタリウムを鑑賞しました。20日は雨のため、昨日の思い出作りやゲーム、カレーライスづくりを体験、夜は雨も上がりキャンプファイヤを楽しみました。21日は名栗湖でのカヌー体験、昼食後、学生ボランティアとの別れを惜しみながら帰途に着きました。



8/30
sun.

第36回九都県市合同防災訓練<埼玉会場> 生協の災害支援活動や防災の取り組みを紹介

「城山公園」(桶川市)を主会場に開催され、5生協・2連合会から21人が参加しました。トラックによる支援物資の輸送訓練に参加し、小野桶川市長に物資を届けました。また防災フェア会場で、東日本大震災への支援のタペストリー等の展示、いつも防災シール投票、コープみらいによる応急生活物資の配布、医療生協さいたまの健康チェックを行いました。



上田埼玉県知事と小野桶川市長も飛入り参加

7/26
sun.

第30回埼玉県原爆死没者慰霊式・被爆70周年記念埼玉の集い 核兵器廃絶と平和な世界を願い450人が参加

埼玉会館小ホールで開催され、午前の慰霊式では、しらすぎ会 田中会長が「核兵器による被害の実相を広く伝え継ぐために力を尽くします」と挨拶しました。午後は、「核兵器とは共存できない」をテーマにしらすぎ会 肥田名誉会長・堀田元会長・田中会長による鼎談、「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」が上映されました。



7/16
thu.

NPT再検討会議ニューヨーク行動報告のつどい 市民社会と連携し核廃絶の世論を高めることが大切

浦和コミュニティセンターにて開催し50人が参加しました。3人の方から活動報告と「被爆の実相を話していきます・核兵器廃絶や平和を考え合いたい」等感想がありました。講演ではしらすぎ会 田中会長が「原点に返りヒロシマ・ナガサキの出来事を学び伝えることが問われています。市民が強くなり世界を動かしてほしい」と話されました。



9/19
sat.

JAとの協同組合間提携の取り組み 家族で稲刈りと田んぼの生きもの調査を楽しみました

JA全農さいたまと埼玉県生協連の共催で杉戸町の高野農村センターと隣接するほ場にて「体験稲刈り&田んぼの生きもの調査」が開催され、26家族88人が参加しました。参加者はまず田んぼに入りバッタ・カエル等を捕まえ正式名称を講師に教えてもらいました。その後、鎌を手に、グループ毎に分かれて稲刈りをし、楽しい一日を過ごしました。



8/28
fri.

適格消費者団体・NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会 閉店しない「閉店セール」から消費者被害を考えました

浦和コミュニティセンターにて、講師に細川 幸一氏(日本女子大学教授・立教大学兼任講師)を迎え、『「閉店しない閉店セール」から考える消費者の権利と責任』をテーマに消費者カアップ学習会Vol.1を開催し、37人が参加しました。「権利を主張することの意味」「消費者の権利教育の重要性」「消費者の責任を考える」「現代消費社会の特徴」等についてお話をいただきました。



広がる 県内生協の 多彩な活動



コープみらい



※1

夏休みに子どもたちが環境について学びました

※2

夏休みに子どもたちが環境について学ぶ「エコたんけん隊」を、店舗など26会場で開催し、430人が環境に配慮した商品を探したり、リサイクルの取り組みを学ぶ「お店探検」や、ペットボトルを使った工作などで楽しみながら環境について学びました。この他、6月から8月に節電、CO2削減に向けた「コープみらいライトダウン」をホームページなどで呼びかけ、3,856人が参加し一般家庭90世帯分の年間消費電力量相当の節電効果がありました。

※1 コープの店舗で環境にやさしい商品を探しました(エコたんけん隊)
※2 カップ麺のカップを使ったミニプラネタリウム作り(エコたんけん隊)

医療生協さいたま



国会前集会に医療班として協力

「安全保障関連法案」をめぐる、国会前で集会が継続して行われ、医療生協さいたまは、医療班に看護師などを派遣しました。雨が強い日や暑さの中、熱中症予防を訴えたり、急患対応を行いました。救護を担当した職員からは「かえって集会参加者から励まされた」「さまざまな意見を直接聞くことができてよかった」「貴重な体験を次に生かしていきたい」などの感想が聞かれました。

子どものその保育生協



お父さんボランティア大活躍

子どもたちの大好きな木製アスレチックは、お父さんたちの手作りです。1995年に作られ整備しながら使ってきましたが、ここで大補修工事をするようになりました。9月12日から土曜・日曜日・休日を使って始まった作業には、理事の大工さんや経験者のお父さん、初ボランティアのお父さんやお母さんも交えて順調に進んでいます。完成はまだまだ先ですが、子どもたちのために知恵と技術と力を出し合って頑張っています。

パルシステム埼玉



初級監査人講習会を開催しました

9月18日(金)、パルシステム埼玉は、武蔵浦和コミュニティセンターで、「パルシステム 公開確認会初級監査人講習会」を開催しました。組合員の代表者が自らの目で、実際に口にする農産物の栽培基準などを確認できるパルシステム独自の取り組みが公開確認会。生産者と消費者が互いに顔が見える関係で確かめ合うことで課題を共有し、さらなる安全性の向上につなげます。参加した組合員は、産地の努力や取り組みをしっかりと確認するために必要な知識や心構えについて学びました。

生活クラブ生協



エコロ基金助成事前説明会を開催しました

生活クラブには「おたがいさまのたすけあい」を進めるエコロ制度があり、組合員の活動保障、生活保障、子育て支援等を行っています。エコロ制度は組合員一人が月に100円の会費を払うことにより運営されていますが、その会費の一部を積み立て、エコロ基金助成として活用しています。25万円を上限とし、「障がい」「子育て」「高齢」に関する活動を地域で行う個人や団体に対し、支援しています。2014年度は、プレハブ倉庫、ガスオープン、上映会の開催費用、電動自転車の購入など、15団体が助成を受けました。9月26日(土)、2015年度助成の事前説明会が開催され、申請受付が開始されました。2月には公開審査が行われます。

コープネット事業連合



※1

※2

集中豪雨の被災者・被災地域を支援

9月9日～10日にかけて関東・東北地方を襲った集中豪雨により、河川の堤防決壊や住宅浸水など深刻な被害が発生しました。コープネットは、被災地域の会員生協であるいばらきコープ、とちぎコープと協力し、各行政や団体からの要請に応え、おにぎり約20万個などの食料品や生活物資、炊き出し用の食材を提供しました。また、コープネットグループの各生協では、被災された方々への義援金や復興支援活動に活用するため、「東日本集中豪雨緊急募金」を開始しました。

※1 茨城県常総市の炊き出し会場に、食材用の支援物資をお届けしました
※2 いばらきコープの組合員理事が炊き出しを行い、大変喜ばれました

大東文化学園生協



夏恒例! 生協学生委員会主催「ビアホール」開催

7月15日(水)16:30～19:00大東文化大学板橋校舎内生協食堂にて、「日頃の生協利用への感謝、板橋校舎は3&4年の上級生キャンパスのためお酒のたしなみ方の学習、教職員と学生のコミュニケーションの場の提供」を目的に生協学生委員上級生が中心となり、毎年恒例のビアホールを開催しました。生ビール1杯200円・おつまみ54円からと、学生にも優しい組価で提供、ドリンクカップは環境にも優しいデポジット式です。真夏日だったこともあり、99名の利用で大盛況でした。